

保健福祉総務課長 様

駅西口開発事務所長 山上 晃稔

設計支援委員会結果報告書

平成 16 年 2 月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	岡山市駅元町地区第二種市街地再開発事業(第2工区)	
設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況	
<ul style="list-style-type: none">地下1階・2階の駐車場の身障者用車室の数を増加してほしい。合わせて身障者用車室は地上に通じる階段又はエレベーターの近くに設置してほしい。エレベーターに、行き先案内を含む音声案内装置を設置してほしい。エレベーター乗り場にも行き先を示す点字表示を設置してほしい。1階・2階のガレリアにエレベーターまでの点字誘導ブロックを設置してほしい。階段の共通事項として、手すりにその階を示す点字を貼付してほしい。	<ul style="list-style-type: none">地下2階は、3台から4台に、地下1階は3台から5台に増やしました。地下1階については1階にあがる8号エレベーターの近くに1台分確保しました。身障者用エレベーターのカゴ内には音声案内を設置します。乗り場へは音声案内は専用部分の運営上できません。点字表示は、乗り場側とカゴ内に設置します。設置します。J・K階段とE階段の4から5階までの手すりに点字表示します。	

支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ エスカレーターには、登りか下りかを知らせる音声案内装置と点字ブロックを設置してほしい。緊急停止ボタンの位置を判りやすくしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に、各用途毎に設置したエレベーターを利用させていただく方が安全と考えています。よって、エスカレーターに視覚障害の方を誘導するための、音声案内、点字ブロックの設置、緊急停止ボタンの位置変更は行いません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルミュージアムのエスカレーターに、点字サインを設置することと合わせて登り切った先の動線誘導をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障害の方については前述と同様の考え方で、デジタルミュージアム用 16・17・18号エレベーターを利用させていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル 8 階のチャペル入口部分の段にスロープを設置してほしい。また、チャペル内のいすの幅及び間隔について、車イスでも使えるように検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 / 12 勾配のスロープを設置します。チャペル内のいすは可動式なので車いすのスペースは確保できます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル 8 階ホールの便所を多目的便所に変更できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プランの見直しにより、一般便所も無くなりました。1階・18階・19階の多目的便所を利用してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル客室出入口ドアの幅を 90cm 確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 80cm から 82cm まで広げるよう考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル客室のルームナンバーの表示を、ドア表面より浮き出た文字にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただ今検討中です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル客室出入口のドアを引き戸にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的規制とスペースの関係でできません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル客室出入口ドアのノブをレバーハンドル式にし、合わせてドアの軽量化を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノブはレバーハンドル式とします。ドアの軽量化については、遮音性能の確保と防火戸としての法的基準を満たす条件の中で最適なものを選定します。

設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル施設として、車いすの人が使える共同のシャワールームを設置してほしい。 ・客室内のユニットバス内の洗面所を独立させ、室内に剥き出しの状態を設置できないか。 ・ユニットバスの入口に段差を付けたくない。 ・ユニットバスの入口の幅を拡げてほしい。 ・ユニットバスの入口扉の開き勝手を現在と逆にしてほしい。 ・浴槽の前後の長さを、座って足が届く位に縮めてほしい。 ・浴槽への出入りを楽にするため、手すりを設置してほしい。 ・床の材質を濡れても乾きやすいものにしてほしい。 ・水栓金具をレバーハンドル式にほしい。 ・ハンディキャップルームの室数を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす用客室（UR）を1室から5室まで増やしたので今回は設置しません。 ・上記と同様で、今回は設置しません。 ・段差は付けません。 ・UR1・2は引戸で有効開口幅が105cm、UR3・4・5は同じく引戸で90cmとします。 ・シングルルームは廊下側を吊元に変更しました。 ・UR1・2の浴槽は、槽の長さを縮めて平場を設置します。 ・UR1・2には手すりを設置します。L型手すりの要望については検討します。UR3・4・5のUBについては手すりを設置する方向で検討しています。 ・現在は石で考えています。表面の仕上げ方法によっては滑り難いと考えていますが、材質は再度検討します。 ・レバーハンドル式とします。 ・1室から2タイプ計5室に増やしました。

支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ ツイン用のハンディキャップルームができないか。 ・ ハンディキャップルームと通常の客室とのコネクティングを検討してほしい。 ・ エキストラベッドを通常仕様のベッドにしてほしい。 ・ URのベッドから起き上がる時のために手すりを設置してほしい。 ・ ホテル部分の廊下に手すりを設置し、その手すりに避難口へ誘導する点字を貼付してほしい。 ・ フロントやルームサービス等の電話番号を点字にした案内板を貸出してほしい。 ・ 座敷トイレを建物の玄関近くに設置してほしい。 ・ オストメイト用トイレは、1階に設置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回はできません。 ・ UR 2 についてはデラックスシングルルームとの、UR 3・4 についてはツインルームとのコネクティングができるようにしました。 ・ 上記の変更を実施したので、エキストラベッドを通常仕様のベッドにすることは考えておりません。 ・ 手すり設置に限定せず、何か良い方法を検討します。 ・ 廊下の有効幅員が法的基準を下回るため、手すりは設置できません。代替手段として、フロントで、点字による避難経路図を貸出することを考えています。また、チェックイン時に、実際に経路を確認する人的サービスも考えています。 ・ 前向きに検討します。 ・ 検討した結果、設置するスペースがどうしても取れないため今回設置はしません。 ・ 1階には設置スペースが取れませんので、地下1階と、南棟4・5階のデジタルミュージアムの多目的トイレの3箇所をオストメイト対応トイレとします。

支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車いす駐車スペースに一般車が駐車することを阻止する対策を考えてほしい。 ・ 多目的トイレに、使用後のオムツを捨てるビルトインタイプのゴミ箱と、荷物棚としてカウンターを設置してほしい。 ・ 8号エレベーターとC階段を同じ位置にしてほしい。 ・ A階段からガレリアに上がれるようにしてほしい。 ・ DMの床に設置する市内航空写真の展示は、車いすや障害者が歩く上で支障の無い材質にしてほしい。 ・ DM 4・5階の17号エレベーターからも案内板までの点字ブロック誘導が必要ではないですか。 <p style="text-align: right;">以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常に難しいが、運営上何か良策がないか検討してみます。 ・ ゴミ箱については、検討します。荷物棚かフックは設置したい。 ・ プランの制約上できません。但し、C階段をガラスの建具に変更し、視認性を高めました。 ・ A階段は元々避難用の階段として設置していて、ホテルの客室階や事務所階にも繋がっています。これらのセキュリティを確保する上で支障となるためできません。C階段と8号エレベーターを利用してください。 ・ その前提で今後の実施設計を進めていきます。 ・ DM 4・5階について16・17号エレベーターを降りてからの誘導は、点字ブロックを止めて音声案内による誘導の方向で検討します。